

【様式】

平成 30 年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立津高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		「自主・自律」の校訓のもと、高い知性と教養を持ったリーダーが育つ学校
(2)	育みたい 児童生徒像	1 日常において「自主・自律」を実践できる、知・徳・体の調和のとれた生徒 2 主体的に学び、自らを律し、粘り強く努力することで、生涯にわたって自己実現を図るとともに、心豊かで、高い志を抱いて社会に貢献できる生徒
	ありたい 教職員像	1 子どもたちに対する愛情にあふれ、豊かな人間性、人権感覚を備えた教職員 2 目指す学校像の実現に向け、前向きでチャレンジ精神にあふれた組織風土の中で、同僚性を育み、自らの専門性を高め続ける教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<生徒> ・質が高く、生徒が能動的に取り組む授業 ・安全で安心できる学校生活と一人ひとりが大切にされる教育活動 ・総合的な学力の伸長と進路希望実現 <保護者> ・子どもの学力と人間力の伸長、そのための教育活動の充実、安全・安心な学習環境 <地域社会> ・地域で信頼される「公立進学校」として、将来の社会を支える市民を育成するとともに、地域を活性化させる教育活動を行うこと
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	<保護者> ・安全・安心な学校生活・学習環境 ・子どもの人間的成長と進路希望実現 <地域社会> 1 小中学校 ・卒業生の学力および人間力の伸長 ・学習活動における連携・協力 2 地域社会 ・リーダーとしての姿勢や態度の育成 ・地域活動への生徒の積極的な参加 3 大学、研究機関等 ・基礎的研究の理解と興味・関心の喚起 ・人的、物的な教育資源の活用 4 卒業生（同窓会） ・「自主・自律」の伝統の継承 ・同窓会活動における在校生との交流
	連携する相手への要望・期待	<保護者> ・本校教育方針の理解と協力 ・相互の信頼に基づく意思疎通 <地域社会> 1 小中学校 ・学習活動における連携・協力 2 地域社会 ・市民性、社会性を育む学習機会の提供 3 大学、研究機関等 ・専門的な研究活動の機会や場の提供 ・生き方や進路等を考える機会の提供 4 卒業生（同窓会） ・「自校教育」の機会の提供 ・生き方や進路等を考える機会の提供
(3) 前年度の学校関係者評価等		○「「自主・自律」の校訓のもと、高い知性と教養を持ったリーダーが育つ学校」という目指す学校像の実現に向け、着実に取組が進められています。 ○教育の不易と流行を大切にしつつ、目指す学校像、育みたい生徒像を共有して、より質の高い授業づくりをはじめとする教育活動に取り組む必要があります。 ○働きやすい職場環境の実現を図る必要があります。

(4) 現状と課題	教育活動	1 自律した学習者を育成するために、より質の高い授業を目指し、組織的な授業改善に取り組む必要があります。また、新学習指導要領や高大接続改革を踏まえ、探究活動を核とするカリキュラム・マネジメントに取り組む必要があります。 2 人と共感する心や相手の立場に立って考えること等、人権意識を育み、命を大切にする取組を全ての教育活動において推進する必要があります。 3 防災に関わる情報を充分活用し、防災教育を充実させるとともに、安全・安心な学校づくりを目指して、学校環境の充実を図る必要があります。
	学校運営等	1 生徒の自己実現に向け、校訓の「自主・自律」の精神に基づき、主体性を引き出すために、一人ひとりの教員の実践力、学校の組織力を更に向上することが求められています。 2 生徒の持つさまざまな課題に対応するため、健康・教育相談体制の充実を図る必要があります。 3 学校を取り巻く環境の変化に迅速に対応するため、常に教育活動全般について、検証・検討・見直しを行う必要があります。

3 中長期的な重点目標

教育活動	1 自律的な学習者の育成・生徒の進路実現に向け、生徒の学びを俯瞰した教育計画のもとで、教育活動を推進します。そのために、より質の高い授業を目指し、組織的に授業改善、実践研究に取り組みます。 2 新学習指導要領や高大接続改革を踏まえ、探究活動を核とするカリキュラム・マネジメントに取り組み、教育活動全体を充実させます。また、3期目のSSH事業を全校体制で推進します。 (1) SSH3期目の全体像とそれぞれの年度で取り組む活動イメージの共有を図ります。 (2) 育成すべき資質・能力と目指す学校像、育みたい生徒像の共有を図ります。 ①主体的に課題を見つけ、どこまでも探究する人 ②生涯にわたって自律的に学び続ける人 ③「創造性」「協働性」「課題解決能力」を持った人 (3) 探究活動の視点で、全ての教科・科目、教育活動をつなげます。 3 生徒一人ひとりの人間力を高めるため、「自主・自律」の精神を醸成するとともに、人権感覚あふれる学校づくりを推進し、生徒の基本的な生活習慣の確立や自主的な活動を奨励・支援するための取組を推進します。
学校運営等	1 学校生活、学習、進路、健康等、生徒の多様な課題やニーズにきめ細やかに対応できる学年、分掌の体制整備と情報共有および連携の強化、初期対応力の向上を図ります。 2 組織的な取組を継続・発展させるために、学習指導、生徒指導、進路指導等における中核的リーダー、若手の人材育成を図ります。校内の各組織において、学び合う組織風土の中で、リーダーシップやフォロワーシップを育成するとともに、教員の資質向上を図ります。 3 対話と情報共有を推進するとともに、業務の効率化、総勤務時間の縮減等に取り組む、全ての教職員が意欲をもって、健康で働くことのできる職場づくりを進めます。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」等
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
質の高い授業づくりと学習習慣の確立	◇質の高い授業づくり ・学習指導や進路指導における専門性や実践力向上を図る取組を組織的に推進します。 【活動指標】 ・授業アンケートの改善・実施(年2回) 【成果指標】 ・授業アンケート項目「先生の熱心さ・態度」および「授業計画と対応」について、生徒の回答の③「ほぼ満足」および④「満足」の割合の合計の値が95%以上、かつ④の値が60%以上 ・授業アンケート項目「学力・技術力向上」および「生徒の満足度」について、生徒の回答の③「ほぼ満足」および④「満足」の割合の合計の値が90%以上、かつ④の値が50%以上 ◇学習習慣の確立 ・学習習慣の定着を図るため、初期指導を充実させます。 【活動指標・成果指標】 ・英語、数学、国語の「学習ガイダンス」の実施 ・振り返りアンケートにおいて、各教科とも「役立った」「まあまあ役立った」の合計が90%以上 ・学習内容の定着を図るための指導について、組織的に充実を図ります。 【活動指標】 ・各定期考査前に自主的な学習習慣の確立を目的とする補習学習を実施		◎
改善課題			
項目	取組内容・指標	結果	備考

進路指導	◇「自主・自律」の精神の涵養 ・「高い知性と教養を持ったリーダー」の土台となる「自主・自律」の精神の涵養を目指し、生徒が、必要な情報を自ら分析・判断し、実際に必要な行動に移せるような資質を養うことを目指します。 【活動指標】 ・生徒が将来について考えられる機会の提供 ・日々の学習と社会の接点が意識できるような活動を提供することによる社会貢献の意識の醸成 【成果指標】 ・第一進路希望実現率等		※
------	--	--	---

改善課題

項目		結果	備考
人権教育	・人権を重んじ自由と責任を自覚した人間の基盤となる力をあらゆる教育活動の中で培います。 ・生徒の自主性を大切にしたい人権学習を展開します。 【活動指標】 ・生徒人権委員会の活動（内容）		◎

改善課題

項目	取組内容・指標	結果	備考
生徒指導	・基本的な生活習慣を確立させます。 ・交通規則の遵守、交通マナーの向上を図ります。 【活動指標】 ・交通安全週間、登校指導週間、完全下校巡視、校内巡視の実施 ・生徒会活動、H R 活動、部活動、課外活動を奨励します。 【活動指標】 ・各種教育活動の実施 【成果指標】 ・部活動加入率等 ・互いの人格を尊重し、他人を思いやる心を育成します。 【活動指標】 ・各種集会での講話等の実施		※

改善課題

項目	取組内容・指標	結果	備考
国際教育	◇SSH事業、マレーシア研修等を活用した国際交流活動の推進 ・国際的な視野の育成を図ります。 【活動指標】 ・台湾の現地校との交流、現地でのフィールドワークの実施 ・マレーシアの現地校との交流の実施 ◇各種団体の主催する国際交流活動への参加を促進 ・県教育委員会主催の海外研修等への参加を推奨します。 【活動指標】 ・国際交流活動参加生徒の、のべ人数		

改善課題

項目	取組内容・指標	結果	備考
文化活動の推進	◇読書生活指導の充実 ・本校図書館を、読書生活を支える場・自主学習の場として捉え、幅広い知識と豊かな情操を養う資料を収集整備して、活用の充実に努めます。また、文化活動を通じて文化的教養を育成します。 【活動指標、成果指標】 ・読書環境の整備、利用の促進（貸出 3500 冊） ・読書指導年間計画に基づいた学年・教科等との連携、および学習やLHRへの支援 ・各種コンクールへの応募、上位入賞 ・蔵書管理のシステム化、「学校図書館資料共有化ネットワーク事業」の推進 ・図書館を文化情報センターとして位置づけた、文化・学習にかかる情報収集と情報発信 ・文化講演会・読書週間行事（朗読会）・ビブリオバトル・推薦図書紹介・ギャラリー展示等の実施 ◇芸術鑑賞の奨励 1 PTA主催の芸術鑑賞補助事業等への参加を積極的に促します。 2 芸術鑑賞会（演劇分野）を実施します。（10月2日） 【活動指標】 ・芸術鑑賞会の実施		※

改善課題

項目	取組内容・指標	結果	備考
健康教育	◇保健管理と保健教育、健康相談 - 心身共に健康で安全な生活を自主的に実践できる能力および態度の育成に努めます。 - 健康診断、健康相談の充実と事後指導の徹底に努めます。 - 学年毎の健康重点目標に沿った健康教育の充実を図ります。 【活動指標】 - 保健講話(各学年1回)・特別支援教育研修会(1回)の実施 「保健だより」の年10回発行 ◇救急時の対応 - 安全に対する意識を高める指導を行います。 - 救急体制の充実を図ります。 ◇教育相談 - 全ての教育活動をととして、生徒の悩みや不安の解決に向けた支援や対応を行います。 - 生徒を取り巻く環境を把握し、支援や対応を行います。 - 保護者、担任、学年主任、保健室、部活動顧問等と情報を共有しながら支援や対応を行います。 【活動指標】 - 専門家による健康相談(年12回以上)・臨床心理士による教育相談の実施 「健康相談のご案内」の年3回以上の発行 「教育相談だより」の年3回以上の発行		

改善課題

項目	取組内容・指標	結果	備考
防災教育	◇防災学習の充実 - 避難経路、避難方法を年度早期において確認します。 - より実際的な場面を想定した避難訓練を実施します。 「防災ノート」を活用した防災学習を実施します。 【活動指標】 - 防災訓練、防災学習の実施(年各1～2回)		※

改善課題

項目	取組内容・指標	結果	備考
----	---------	----	----

探究的活動 の推進と SSH事業 への取組	◇探究活動を核とし、全ての教育へつなげる科学教育システムの構築 ・探究心を醸成し、創造性、協働性、課題解決能力を育みます。 ・SSH探究活動を中心に、主体的・対話的に課題を追求できる仕組みを構築します。 ・校内外の児童・生徒が相互に刺激を受けながら資質・能力を高め合う取組を実施します。 【活動指標】 ・「SSH探究活動Ⅰ」において、「リベラルアーツ」、「夏季フィールドワーク」、「試行的な課題研究」を実施 ・「SSH探究活動Ⅱ」において、１年間にわたる「課題研究」を実施、「SSH生徒研究発表会」での研究成果の発表 ・「みえ自然科学フォーラム」、「国際科学技術コンテスト強化講座」を実施		◎
--	--	--	---

改善課題

項目	取組内容・指標	結果	備考
環境・美化教育	◇環境美化、公共性の向上に向けた取組 【活動指標・成果指標】 ・美化委員会による清掃用具、清掃状況のチェックとフィードバック（月１回） ・美化委員によるゴミ分別のチェック（原則毎日） ・環境美化改善へ、生徒のアイデアを取り入れた取組の実施（年６回） ・ペットボトルのキャップをエコキャップとして回収し、美化委員による洗浄・選別後、エコキャップ運動参加企業への持ち込み ◇環境問題に対する意識の醸成 【活動指標】 ・「環境週間」を設け、その一日を「学校環境デー」として学校全体で美化活動を実施		

改善課題

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」等
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」:定期的に進捗を管理する取組 「◎」:最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
授業力向上の取組と教育課程の研究・改善	◇授業力向上の取組 ・授業研究や授業公開、授業評価等をととして、授業力の向上を図ります。 【活動指標】 ・「授業力向上に向けた各教科の取組シート」の作成 ・全教科1回以上の授業公開の実施。学習指導委員が中心となり、他教科の授業見学を推進 ・教科内において、授業研究を実施・研究協議の充実・教員相互で、授業力を向上 ・保護者を対象とした授業公開の実施(3日間) 【成果指標】 ・各教科における、授業アンケートの、授業改善のための資料としての活用、成果の検証 ◇探究的な学びの指導方法や評価方法についての研究を行います。 【活動指標】 ・学習指導委員会を中心とした様々な教員による、指導方法・評価方法の検討および実践の検証		◎

改善課題

項目	取組内容・指標	結果	備考
進路指導に関する情報共有	・生徒の進路決定に必要な情報を学年団に随時提供し、データを効果的に活用した指導体制を構築します。 【活動指標】 ・高大接続改革等にかかる情報提供 ・校外試験等の結果を基にした学年での成績分析会の実施 ・分析会での内容について、生徒へフィードバック		

改善課題

項目	取組内容・指標	結果	備考
人権教育に関わる情報、方法の	・教職員の人権教育に関わる研修、フィールドワーク、研究会等への参加を促進します。 【活動指標】		

共有	・「人権だより」の発行、研修会の開催等 ・人権教育推進協議会の設置と情報の共有 【活動指標】 ・人権教育推進協議会の開催、人権教育推進計画の策定		
改善課題			
項目	取組内容・指標	結果	備考
生徒情報および指導方法の共有	・一人ひとりの生徒理解に基づいたきめ細やかな支援を行います。 【活動指標】 ・学年会等での生徒情報交換の実施 ・面談週間をはじめ、随時面談を実施 ・綿密な保護者との連携、情報共有 ・より良い関係性構築に向けた校内での情報共有 ・特別支援教育にかかる教員研修の実施		◎
改善課題			
項目	取組内容・指標	結果	備考
働きやすい職場環境づくり	・業務の精選や改善、校内組織の点検等を行い、総勤務時間縮減を図ります。 【活動指標】 1 定時退校日を月に1日（定時退校週間において1日） 2 部活動休養日を週に1日 3 放課後に開催され60分以内に終了する会議の割合を80% 【成果指標】 1 時間外労働時間3時間／月削減 2 休暇取得日数2日／年増加 3 月80時間を超える時間外労働者を延べ36人削減		◎ ※ ※
改善課題			
項目	取組内容・指標	結果	備考
広聴・広報活動	◇学校関係者評価委員会による学校評価を実施します。 【活動指標】 ・学校関係者評価委員会の実施（年2回） ◇ホームページ（HP）の活用、自治会との連携 ・積極的にHPを通じた情報発信を行います。また、「津高校だより」等を通じて、地域の方々等に本校の現状や取組		

	についてお知らせします。 【活動指標】 ・ＨＰの更新（週に２回程度） ・「津高校だより」の発行（月１回程度） ◇津高入門講座、学校見学会の実施 ・学校の「素」の姿を中学生や保護者をはじめとした方々に公開し、本校の教育活動を理解していただくとともに、更なる改善につなげます。 【活動指標】 ・津高入門講座（8/22）、学校見学会（8/29, 30、10/14）の実施 ◇学校ＰＲ用ポスターの活用 ・学校ＰＲ用のポスターを広報活動に活用します。 【活動指標】 ・各中学校への配付		
改善課題			